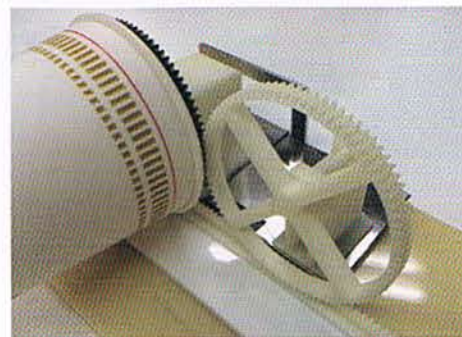
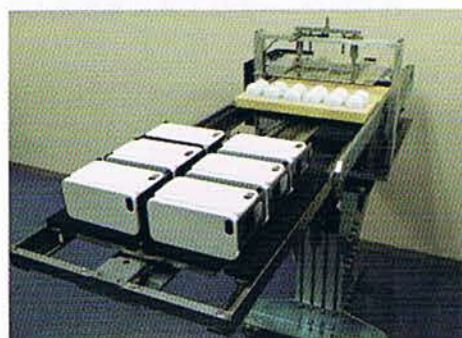


## プリンターの稼働率向上に貢献 プリンター治具ジャンルを確立



### 事業内容

#### 他に先駆けて誕生した プリンター治具の専門メーカー

治具(じぐ)は、加工や組立の際に部品や工具の作業位置を固定する道具で、ボールペンやiPhoneケース、ゴルフボールなど立体のものを印刷するときにも固定する役割を持つ。印刷対象物をしっかりと固定することで印刷の見当性を向上させ、さらにプリンターの稼働率も向上させる印刷時には欠かせない道具だ。

同社の設立以前は、高性能なプリンターが登場しているにも関わらず、印刷をサポートする治具の専門メーカーはなく、プリンターを使う各社が独自に治具を製作していた。そこで、2010年(平成22年)にプリンター治具の専門メーカーとして創業し、同年12月には販売サイト「ジグメイクドットコム」を立ち上げて販売に着手する。

プリンターの種類に関係なく取付け可能な規格製品をシリーズで販売するほか、多ロットや複雑な形状の商材に対応する治具もオーダーメイドで製作している。鉄、アルミ、樹脂、アクリルなど幅広い材質に対応し、顧客の要望に応じている。さらに、インク剥離を解消する脱脂専用塗面洗浄剤「ダッシュアース」の販売も開始し、プリンターメーカーの手が届きにくい分野を積極的に開拓することで、プリンターメーカーのパートナーとしての役割を担っている。

### 補助事業

#### 省力化に向けて 自動治具交換装置を開発

印刷業界には「鉛筆を1日に1,000本プリントしたい」というような小ロットのニーズが多い。量産品ではなく、広告宣伝、販売促進、各種賞品などに利用するための印刷が増加しており、このような細かいニーズに応えるため、同社ではプリンターに関するノウハウと治具設計に関するノウハウに加え、プリンターメーカーとの密接な情報交換が可能というメリットを活かして、新製品開発に着手した。

具体的には、これまで不可能とされてきた円錐形状に直接プリントするための治具である。例えば、カップラーメンなどのパッケージに上書きする工程において、治具を特殊回転させることで、円錐形状物へのプリント(360度)が可能な「特殊回転治具」の開発を進めた。また、工場の省力化をさらに推進し、量産にも対応できるよう自動搬送装置も取り付け、無人でも印刷が可能な装置の製作を試みた。

販売は、従来通りプリンターメーカー経由での販売を想定しており、プリンターユーザーの利便性向上につながる製品に仕上げていくことを目標とした。

### 成果

#### 時間短縮に貢献できる自動化装置 機械の動きや性能面では課題も

試作開発工程では、回転移動軸治具は3Dプリンターや切削機を使って試作を行ったほか、納期短縮につながる治具取替え部分は各プリンターメーカーの製品の調査を進め、各メーカーのプリンターに対応できる自動搬送機の製作を進めた。

具体的な成果としては、円錐形状治具を取り付けての印刷を実現。さまざまなメーカーのプリンターに対応する治具自動交換機となり、既存のプリンターにも後付けできるようになった。自動で治具を交換することで時間短縮にも貢献できる製品に仕上がし、大手プリンターメーカーに納入されるなど、早速実績をあげている。

ただ、機械の動きや性能部分では、まだ第一歩を踏み出した段階だという。動作のしなやかさに欠けるため、機能面の向上が今後の課題となっている。



### 今後の展開

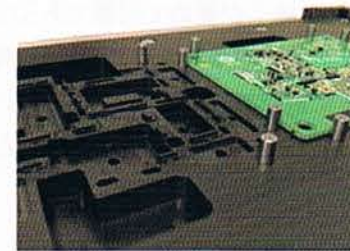
#### 治具分野は海外でも手応え プリンター稼働率の向上に寄与できる企業へ

治具製作を専門とする企業は海外にもそれほど多くなく、また海外の治具メーカーは製作期間が長く、特に打ち合わせに多くの時間を費やす傾向があるようだ。一方、同社は協力会社のサポートもあって短納期で対応できるほか、治具のバリエーションも多く、打ち合わせ時間も短縮でき、顧客となる海外企業からの評価も高い。まだ実際の販売には至っていないものの、今後は納期短縮に伴うコストメリットを訴求しつつ、海外取引も伸ばしていきたい考えだ。

また、従来は得意先の要望に応えるかたちの受け身の営業展開であったが、今後は能動的な営業へ転換し、今回開発した製品をはじめとして提案型の営業にも力を入れていく。併せて「ダッシュアース」や「トレンナー」といった消耗品の販売にも注力する。

「プリンターの稼働率を向上させることが当社の使命であり、デザインも含めたiPhoneケースの印刷販売も積極的に支援していく方針です。加えて、遊び心が加わった斬新で驚きのあるものを提供していきたいですね」とは、代表取締役社長の森川博光氏。

設立から日が浅いながらも、同社ではさまざまなアイデアと行動力で新製品をリリースし続けており、その市場分野も広がりがつつある。関西モリッツの飛躍に期待したい。



#### 顧客のニーズに フレキシブルに対応

代表取締役社長 森川 博光

「世界でたったひとつのオリジナル商品を作りたい」

このようなニーズに応えることができるように、日々、努力してまいりました。

弊社は印刷業界に特化した治具専門メーカーで、ご要望に合わせた印材、素材、品質、また価格に応じて、お好みの商品を製造することが可能です。

PB商品、OEM商品の実績が多数あり、「売れる商品」のノウハウも豊富に蓄積しています。

また小ロット注文、大量注文、スピード対応など、ご要望はできる限り、お受けするようにしています。



#### 株式会社 関西モリッツ

代表取締役社長 森川 博光

大阪市北区天神橋3-1-35

南森町岡藤ビル6階

TEL : 06-6940-0980

(資本金) 1,000千円

(従業員) 5人

<http://www.kansaimoritz.co.jp/>

